

## ガガイモ (ががいも)

名前の意味<sup>いみ</sup>：名前の意味はよくわからない。

分類：双子葉類、ガガイモ科、ガガイモ属

好きな場所：日当たりのよい道ばた、畑の縁

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生<sup>じせい</sup>)

特徴：2枚ずつ付く葉、切ると白いお乳が出るつるになる茎<sup>くき</sup>、薄紫<sup>うすむらさき</sup>

色の肉厚の花弁

種子の運ばれかた：風に飛ばされる

花弁の数：5枚、合弁<sup>ごうべん</sup> (花びらがつながったまま落ちる)

花の時期：7—9月

食べ方：茎<sup>くき</sup>から出る白い液をつけるとかぶれることがある

見分け方：ヘクソカズラは、ちぎると変な匂い<sup>にお</sup>がする。花は筒状<sup>つつじょう</sup>で、まん中が赤い。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)